

東海テレビ制作の作品 2021年『日本民間放送連盟賞』  
テレビCM部門で最優秀を獲得!!

**4年連続で最優秀を獲得!!**

【最優秀作品】

「公共キャンペーン・スポット ジェンダー不平等国で生きていく。」

東海テレビが制作したテレビCM「公共キャンペーン・スポット ジェンダー不平等国で生きていく。」が、日本民間放送連盟賞中央審査会において、最優秀を受賞した。昨年も東海テレビが制作したテレビCM「公共キャンペーン・スポット／この距離を忘れない。」が最優秀を受賞しており、これで4年連続して最優秀を受賞することになった。

この作品は、中央審査会において全国から選出された18作品の中から最優秀に選ばれた。東海テレビは、9/23(木)26:00～26:07の予定で放送するとともに、YouTubeでも公開している。

[https://youtu.be/0\\_dkr47o0AM](https://youtu.be/0_dkr47o0AM)

■最優秀「公共キャンペーン・スポット ジェンダー不平等国で生きていく。」の内容・・・

ジェンダー・ギャップ指数が世界120位の日本。女性の政治参加が進んでいません。さらに今年、東京五輪・パラリンピック組織委員会の森喜朗前会長の女性に対する発言を巡り、国内外から批判が出るなど、大きな議論が起きました。今、この国のジェンダー意識が問われています。CMでは、異なる性別・世代・立場の人への取材を通して、身の回りに存在するジェンダーの問題について考えました。政治や企業の男社会の中で女性が抱える生きづらさ。夫婦が家事・育児を分担するとき何が障害になるのか。ジェンダーの問題に対する男性側の意識とは。時代とともに変化する「男／女とはこうあるべき」という意識。こうしたことに向き合うとき、ジェンダーの問題は、社会を形作る私たち1人1人の問題だということに気づきます。誰もがこの問題を自分事としてとらえること。それがジェンダー平等に向けた第一歩になるのではないのでしょうか。



【プロデューサー繁澤かおる(東海テレビ)コメント】

「今回のCM制作の小さなチームの中でも、ジェンダー平等に対する考え方やジェンダーの課題への認識について、意識をすり合わせることの難しさを実感しました。それでも、本音をぶつけ合い、議論を重ねて作り上げたものが、受賞と言う形で受け止めてもらえたことは、とても嬉しく思います」

【スタッフ】

プロデューサー: 繁澤かおる(東海テレビ)

プロデューサー補・取材: 神谷美紀(東海テレビ)

コピーライター・CMプランナー: 山中康司(電通中部支社)

ディレクター: 友久陽志

<東海テレビ制作 テレビCM最優秀受賞歴及び放送予定、YouTube公開URL>

2018年「竹島水族館／すいぞくかんのうた」

(放送: 9/20(月) 25:04～25:07 公開URL: [https://youtu.be/cIM1\\_mwrFaQ](https://youtu.be/cIM1_mwrFaQ))

2019年「公共キャンペーン・スポット／見えない障害と生きる。」

(放送: 9/21(火) 25:45～25:52 公開URL: <https://youtu.be/kahJcMqldHw>)

2020年「公共キャンペーン・スポット／この距離を忘れない。」

(放送: 9/22(水) 25:10～25:17 公開URL: <https://youtu.be/KSUn-cpmMjM>)

以上

